



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.228 2022 June

今月の記事

Top News

- 橋爪宏達特任教授の論文が情報処理学会
特選論文に選ばれる 1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 325人から学士の学位授与の申請
—令和4年度4月期申請分— 2
- 2,269人に学士の学位を授与
—令和3年度10月期申請分— 4
- これまでの学位授与の状況（学士） 6
- 短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況
..... 7

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の
課程修了者への学位授与関係

- 30人から修士の学位授与の申請
—大学院修士課程相当の課程修了者— 8
- 3人から博士の学位授与の申請
—大学院博士課程相当の課程修了者— 8
- これまでの学位授与・課程認定の状況
..... 9

調査研究

- 研究開発部教員紹介 11

機構の窓

- 会議の開催状況 12
- 委員の異動
- 学位審査会審査委員 13
- 新型コロナウイルス感染症対策について
..... 14

主要行事日程

- Schedule（6月～8月） 15

TOP NEWS

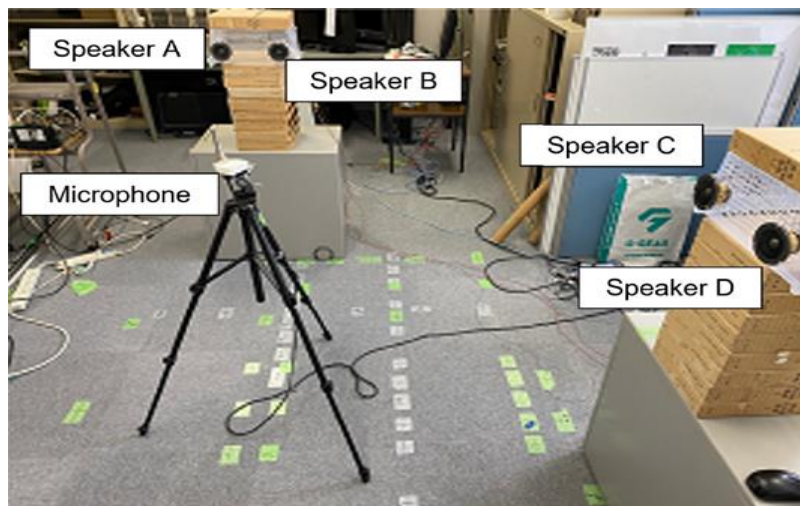
○ 橋爪宏達特任教授の論文が情報処理学会特選論文に選ばれる

2022 年 5 月公表の情報処理学会論文誌ジャーナル(Vol.63 No.5)に掲載された中村将成・山崎奨真・橋爪宏達・杉本雅則「汎用スピーカを用いた短時間かつ適応的なスポット通信手法」が特選論文として選定されました。

https://www.ipsj.or.jp/award/ssp_award.html

同論文は、普通の拡声スピーカを使って、部屋の中の特定位置の受話者にだけ受信可能なデジタル通信技術を扱ったものです。新しい秘話通信技術の提案ということで、情報処理学会に評価されました。

スピーカから音を出すと、音は部屋全体に広がり、すべての場所の人が受信できてしまいます。2 個以上のスピーカを設置し、同時に音を出すと、音波の干渉という現象のため、場所によって音が強まったり、消滅したりします。同論文ではそのような音波の性質を使い、4 個のスピーカの音を制御することで、特定の場所（「スポット」と呼びます）にいる受話者のみが受信可能なデータ通信を実現できることを示しました。また受信者が部屋を移動しても、その時々を受話者の位置を認識し、スポットをそれに合わせて移動させることによってスポット通信を継続できることも明らかにしました。



スポット通信の実験風景。4 台のスピーカを使用している。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 325 人から学士の学位授与の申請 ―令和4年度4月期申請分―

学士の学位授与申請は、毎年度2回（4月期と10月期）受け付けており、令和4年度4月期においては、短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等318人から、20専攻分野35専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に関して、令和4年5月20日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による対応について、審議が行われました。

高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者については、7人から2専攻分野2専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に関して、学位審査会において、機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

また、機構では、平成30年度から「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 学位取得者表彰規則」に基づいて、当機構で学士の学位を取得した方のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた方に対して表彰を行っています。今年度は、令和3年度4月期及び10月期に学士の学位を取得した方から表彰者を決定する予定です。

＜令和４年度４月期学士の学位授与申請者数＞

(専攻の区分別)

(基礎資格別)

基 礎 資 格	申請者数(人)
短 期 大 学 卒 業 者	81
高 等 専 門 学 校 卒 業 者	8 [7]
専 門 学 校 修 了 者	182
高 校 等 専 攻 科 修 了 者	6
大 学 中 退 者	25
飛 び 級	2
大 学 卒 業 者	20
外 国 資 格	1
合 計	325 [7]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(見込み申請者の内訳)

区 分	申請者数(人)
短期大学専攻科修了見込者	1
高等専門学校専攻科修了見込者	7 [7]
合 計	8 [7]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)	
文学	英語・英米文学	2	
	歴史学	1	
	哲学	1	
	心理学	1	
教育学	教育学	10	
社会学	社会学	1	
教養	地域研究	1	
	科学技術研究	1	
経済学	経済学	5	
商学	商学	1	
経営学	経営学	1	
理学	生物学系	2	
	総合理学	1	
薬科学	薬科学	2	
看護学	看護学	220	
保健衛生学	検査技術科学	10	
	臨床工学	11	
	放射線技術科学	5	
	理学療法学	6	
	作業療法学	3	
	言語聴覚障害学	2	
鍼灸学	鍼灸学	1	
口腔保健学	口腔保健衛生学	3	
	口腔保健技工学	2	
柔道整復学	柔道整復学	1	
栄養学	栄養学	3	
工学	機械工学	3	[1]
	電気電子工学	3	
	情報工学	4	
	応用化学	1	
	土木工学	1	
商船学	商船学	7	[6]
農学	農学	1	
水産学	水産学	1	
芸術学	美術	7	
合 計		325	[7]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

○ 2,269 人に学士の学位を授与 ―令和3年度 10 月期申請分―

令和3年度 10 月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等 2,348 人のうち、2,269 人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果等に基づき、令和4年2月21日（月）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈令和3年度 10 月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)	取得者数(人)
文 学	英 語 ・ 英 米 文 学	11	11
	歴 史 学	3 [3]	3 [3]
	心 理 学	2	1
教 育 学	教 育 学	171 [116]	169 [116]
神 学	神 学	1	
社 会 学	社 会 学	1	
教 養	比 較 文 化	1	
	地 域 研 究	1	1
	国 際 関 係	1	1
社 会 科 学	社 会 科 学	1	1
法 学	法 学	1	1
経 済 学	経 済 学	3	1
経 営 学	経 営 学	13 [10]	12 [10]
理 学	数 学 ・ 情 報 系	1	
	化 学 系	1	1
	生 物 学 系	3	1
	総 合 理 学	1	
薬 科 学	薬 科 学	1	
看 護 学	看 護 学	312 [20]	280 [20]
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	20 [11]	20 [11]
	臨 床 工 学	2	1
	放 射 線 技 術 科 学	14	13
	理 学 療 法 学	24	23
	作 業 療 法 学	14	14
	言 語 聴 覚 障 害 学	3	1
専攻分野の名称	専 攻 の 区 分	申請者数(人)	取得者数(人)

鍼灸学	鍼灸学	5	3
口腔保健学	口腔保健衛生学	60 [28]	60 [28]
	口腔保健技工学	8	8
柔道整復学	柔道整復学	1	1
栄養学	栄養学	34 [25]	31 [24]
工 学	機械工学	344 [341]	341 [339]
	電気電子工学	512 [510]	504 [503]
	情報工学	222 [216]	220 [214]
	応用化学	171 [168]	171 [168]
	生物工学	22 [22]	22 [22]
	材料工学	28 [28]	26 [26]
	土木工学	148 [148]	148 [148]
	建築学	83 [79]	83 [79]
	社会システム工学	10 [9]	9 [9]
農学	農学	1	
家政学	家政学	4	4
芸術学	音楽	36 [6]	34 [5]
	美術	40 [16]	37 [15]
	演劇	13	12
合 計		2,348 [1,756]	2,269 [1,740]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数及び取得者数で内数。

○ これまでの学位授与の状況（学士）

＜平成4年度～令和3年度＞

学位(学士)の専攻分野 の 名 称	取得者数 (人)	学位(学士)の専攻分野 の 名 称	取得者数 (人)
文 学	671	看 護 学	8,551
教 育 学	4,225	保健衛生学	4,980
神 学	24	鍼 灸 学	148
社 会 学	107	口腔保健学	723
教 養	190	柔道整復学	8
学 芸	54	栄 養 学	2,788
社会科学	40	工 学	31,798
法 学	113	芸術工学	383
政 治 学	28	商 船 学	230
経 済 学	79	農 学	141
商 学	76	水 産 学	6
経 営 学	285	家 政 学	135
理 学	165	芸 術 学	5,205
薬 学	2	体 育 学	86
薬 科 学	14	合 計	61,255

○ 短期大学及び高等専門学校の特攻科認定状況

令和4年4月現在

	区 分	令和3年度末時点 既認定専攻科数 (専攻)	令和4年度 新規認定専攻科数 (専攻)	令和4年度認定専攻科総数 (専攻)
短期大学 専攻科	文 学	3 [3]		3 [3]
	教 育 学	17 [14]	1 [1]	17 [15]
	社 会 学	1 [0]		0 [0]
	教 養	3 [2]		1 [1]
	看 護 学	6 [0]	1 [0]	7 [0]
	保 健 衛 生 学	4 [0]		4 [0]
	口 腔 保 健 学	8 [2]		8 [2]
	家 政 学 ・ 栄 養 学	9 [7]		8 [6]
	芸 術 学	11 [9]	1 [1]	12 [10]
	計	44 校 62 専攻[37]	3校3専攻[2]	43 校 60 専攻[37]
高等専門学校 専攻科	経済学・商学・経営学	2 [2]		2 [2]
	工学・芸術工学	107 [107]	2 [2]	104 [104]
	商 船 学	5 [5]		5 [5]
	計	56 校 114 専攻[114]	2 校 2 専攻[2]	56 校 111 専攻[111]
合 計		100 校 176 専攻[151]	5校5専攻[4]	99 校 171 専攻[148]

(注1) [] 内は、2年制の専攻数で内数。

(注2) 「計」、「合計」欄の学校数については、実数を記載(同一校において他の専攻科を認定したこと等により単純に累計とならない)。

(注3) 令和4年度認定専攻科総数は、専攻科の廃止も反映した値。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 30人から修士の学位授与の申請—大学院修士課程相当の課程修了者—

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の令和4年3月修了者30人から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に関して、令和4年5月20日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学専門委員会が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、合格者には各大学校を通して修士の学位を授与します。

＜修士の学位授与申請者数＞

認 定 課 程 名	専攻分野の 名 称	申請者数 (人)
水産大学校 水産学研究科	水 産 学	10
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科 前期課程	看 護 学	5
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業 能力開発研究学域	生 産 工 学	14
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	安全保障学	1
合 計		30

○ 3人から博士の学位授与の申請—大学院博士課程相当の課程修了者—

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の令和4年3月修了者3人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に関して、令和4年5月20日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、工学・芸術工学専門委員会が指定されました。

専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、合格者には各大学校を通して博士の学位を授与します。

＜博士の学位授与申請者数＞

認 定 課 程 名	専攻分野の 名 称	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科後期課程	工 学	3
合 計		3

○ これまでの学位授与・課程認定の状況

令和4年4月1日現在

1 大学の学部に対応する教育を行う課程

認 定 課 程 名	認 定 年 月 日	修業 年限	入学定員 (人)	取得者数 累計(人)	授 与 す る 学 位 (専攻分野の名称)
防衛医科大学校 医学教育部医学科	平成 3 年 8 月 30 日	6年	80	2,033	学士(医学)
防衛大学校本科	平成 3 年 12 月 18 日	4年	480	12,794	学士(理学、工学、 人文科学または社会 科学)
水産大学校本科	平成 3 年 12 月 18 日	4年	185	5,594	学士(水産学)
海上保安大学校本科	平成 3 年 12 月 18 日	4年	60	1,232	学士(海上保安)
気象大学校大学部	平成 3 年 12 月 18 日	4年	15	419	学士(理学)
職業能力開発総合大学校 長期課程 ※平成 28 年度末廃止	平成 3 年 12 月 18 日	4年	-	4,930	学士(工学)
国立看護大学校 看護学部看護学科	平成 13 年 3 月 26 日	4年	100	1,740	学士(看護学)
職業能力開発総合大学校 総合課程	平成 24 年 2 月 13 日	4年	80	585	学士(生産技術)
防衛医科大学校 医学教育部看護学科	平成 29 年 2 月 15 日	4年	120	557	学士(看護学)
合 計				29,884	

2 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認 定 課 程 名	認 定 年 月 日	修業 年限	入学定員 (人)	取得者数 累計(人)	授 与 す る 学 位 (専攻分野の名称)
防衛大学校 理工学研究科前期課程	平成 3 年 12 月 18 日	2年	90	1,781 [57]	修士(理学または工 学)
職業能力開発総合大学校 研究課程 ※平成 24 年度末廃止	平成 3 年 12 月 18 日	2年	-	470 [78]	修士(工学)
水産大学校 水産学研究科	平成 6 年 6 月 23 日	2年	10	255 [33]	修士(水産学)
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	平成 9 年 3 月 11 日	2年	20	372 [138]	修士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	平成 17 年 2 月 10 日	2年	15	127 [69]	修士(看護学)
職業能力開発総合大学校 高度養成課程職業能力開発研究学域	平成 28 年 2 月 12 日	2年	20	61 [0]	修士(生産工学)
合 計				3,066 [375]	

[]内は修了見込み申請で内数

3 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程

認 定 課 程 名	認 定 年 月 日	修業 年限	入学定員 (人)	取得者数 累計(人)	授 与 す る 学 位 (専攻分野の名称)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	平成 3 年 8 月 30 日	4 年	30	550 [0]	博士（医学）
防衛大学校 理工学研究科後期課程	平成 13 年 3 月 12 日	3 年	20	118 [18]	博士（理学または工学）
防衛大学校 総合安全保障研究科後期課程	平成 21 年 2 月 13 日	3 年	7	20 [3]	博士（安全保障学）
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	平成 27 年 2 月 13 日	3 年	3	4 [2]	博士（看護学）
合 計				692 [23]	

[]内は修了見込み申請で内数

調査研究

○ 研究開発部教員紹介

市村 賢士郎 研究開発部准教授



昨年度4月に着任しました。学部から博士課程まで京都大学で心理学を学び、平成30年に学位取得後は、京都大学に当時新設されたデータ科学イノベーション教育研究センターで、文系向けの統計入門の授業を行うなど、主に統計の教養教育科目の実施・普及を行う仕事をしてきました。私自身も文系出身（教育学部）であるため、数学的な説明はうまくできないのですが、統計の仕組みの直感的な理解や、結果の主観的な解釈を避けるための重要点を伝えることを意識してきました。現職では、大学運営基盤強化促進支援事業と評価事業に係る調査研究を主としています。心理学では研究の目的に応じてデータを測定する方法をい

かに工夫できるかが勝負な部分があるため、すでにあるデータを分析して価値ある示唆につなげるという作業には苦戦しています。職歴を見ると、心理学からはどんどん遠ざかっているようで、多少の不安は感じていますが、研究の専門性と業務での経験を相互に活用していければと考えています。

私の研究テーマは動機づけ（motivation）です。教育の質を考えると、学習方法や授業内容に関心が集まりがちですが、動機づけの質もとても大切だと考えています。動機づけの質とは、何のたけに行動するのかという目的や方向性と言い換えることができます。行動が自身の興味や関心、自身にとっての価値や成長に基づいている状態を自律的動機づけといい、ルールや規範、他者からの評価や賞罰に基づいている状態を統制的動機づけといいます。教育場面に限らず、多くの場面で自律的動機づけはパフォーマンスや満足感と正の関連を持ち、統制的動機づけは負の関連を持つことが知られています。例えば、単位さえ取ればいいという統制的動機づけが高い学習者であれば、与えられた学習方法や授業内容がどれだけ優れたものであっても、テストやレポートはストレスなく乗り切れるかもしれませんが、求められている以上に内容を深く理解するところまでには至りにくいでしょう。反対に、学ぶ内容に意義を見出している自律的動機づけが高い学習者であれば、教科書を読み上げるだけの授業であっても、質問や自習を積極的に行い、深い学びが実現できるかもしれません。最近「三角関数（教養や基礎）よりも金融経済（実学）を学ぶべきではないか」というツイートが話題になりましたが、自律的動機づけが低い状態だと、教養や基礎は不要な知識で終わってしまうかもしれません。一方で、自律的動機づけが高い状態であれば、教養や基礎と実学を結び付けた深い理解や思考が身につくと言えるでしょう。車の構造を知ることと安全な運転の仕方を知ことは別物だと考えるのか、車の構造を知ることと安全な運転の仕方をより深く理解しようとするのかは学ぶ動機づけの質にもよるのです。

このような話をすると、どうすれば自律的動機づけを高めることができるのかと聞かれることがよくあります。しかし、具体的な方法というのはそう簡単ではないと考えています（もちろん、そうした方法に関する研究も数多く行われています）。何に興味や関心、価値を見出すかは人それぞれあり、何をきっかけに行動に意義を見出すようになるのかも一般化することは難しいためです。各個人が自分の行動に対して自律的動機づけにつながる要素を自分なりに見出していくことが必要になるでしょう。自律的動機づけという言葉はまだ世間に認知されていないように思いますので、まずは研究や業務を通して少しずつその重要性を発信していく所存です。

いちむら けんしろう 博士（教育学）（京都大学）

令和3年3月まで 京都大学国際高等教育院附属データ科学イノベーション教育研究センター特定助教

令和3年4月から 本機構研究開発部准教授

機構の窓

○ 会議の開催状況

・ 学位審査会

第1回 令和4年5月20日（金） ウェブ開催

議事

（審議事項）

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響による対応について
- 2 学士、修士及び博士の学位授与の審査の付託について
- 3 専攻科認定及び特例適用認定の審査の付託について
- 4 令和4年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- 5 認定課程修了者に係る修士及び博士の学位授与の審査の結果について

（報告事項）

- 6 学士、修士及び博士の学位取得者数について
- 7 その他

■ 委員の異動

○ 学位審査会審査委員

学位審査会審査委員4人が退任され、新たに3人の方々が就任されました。

・退任（令和4年3月31日）

氏 名	退 任 時 の 職	在 任 期 間
菊 池 和 朗	大学改革支援・学位授与機構 研究開発部主幹	平成28年4月16日～令和4年3月31日
北 詰 昌 樹	東京工業大学教授	平成30年4月16日～令和4年3月31日
瀬 沼 花 子	玉川大学教授	平成31年4月15日～令和4年3月31日
土 野 研 治	日本大学特任教授	令和2年4月13日～令和4年3月31日

・学位審査会審査委員16人

任期は令和4年4月13日～令和6年3月31日（再任、新任とも）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
天 野 英 晴	慶應義塾大学教授	舘 石 和 雄	名古屋大学教授
飯 野 正 光	東京大学特任教授	西 村 敏 英	女子栄養大学教授
宇 高 勝 之	早稲田大学教授	本 田 彰 子	東京医科大学教授
◎大 芝 亮	広島市立大学特任教授	松 尾 祐 孝	洗足学園音楽大学教授
○影 山 和 郎	金沢工業大学教授	山 口 周	大学改革支援・学位授与機構 特任教授
佐 藤 和 順	佛教大学教授	山 下 哲 郎	工学院大学教授
椎 原 伸 博	実践女子大学教授	山 下 純 司	学習院大学教授
菅 原 義 之	早稲田大学教授	吉 川 裕美子	大学改革支援・学位授与機構 研究開発部主幹

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

○ 新型コロナウイルス感染症対策について

当機構では新型コロナウイルス感染症対策として、令和4年5月の機構主催の各行事について、以下のとおり対応を行い開催しました。

令和4年5月

開催日	行事名	対応	担当課
19日～ 27日	令和4年度高等専門学校機関別認証評価委員会 (第1回)	書面審議	評価支援課
20日	学位審査会(令和4年度第1回)	ウェブ開催	学位審査課
23日	令和4年度大学機関別認証評価委員会(第1回)	ウェブ開催	評価支援課
25日	国立大学教育研究評価委員会(第67回)	ウェブ開催	国立大学 評価室
31日	令和4年度法科大学院認証評価委員会(第1回)	ウェブ開催	評価支援課

主要行事日程

○ Schedule

6月

日	行事名	担当課
1 日	高等専門学校機関別認証評価検討ワーキンググループ（第 1 回）	評価支援課
8 日	令和 4 年度高等専門学校機関別認証評価における評価担当者に対する研修	評価支援課
12 日	令和 4 年度 4 月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課
12 日	令和 4 年度 4 月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
13 日	法科大学院認証評価に関する説明会及び令和 5 年度に実施する法科大学院認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課
16 日	令和 4 年度高等専門学校機関別認証評価における評価担当者に対する研修	評価支援課
18 日	「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方へのオンライン説明会」（放送大学とのオンライン合同説明会）	学位審査課
下旬	大学機関別認証評価等に関する説明会及び令和 5 年度に実施する大学機関別認証評価等に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課
下旬	令和 4 年度大学機関別認証評価における評価担当者に対する研修会	評価支援課
下旬	令和 4 年度法科大学院認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課

7月

日	行事名	担当課
11 日	NIC-Japan セミナーシリーズ「台湾の教育制度・高等教育資格」	国際課

8月

日	行事名	担当課
22 日	学位審査会（令和 4 年度第 2 回）	学位審査課
29 日	大学ポートレート運営会議（第 17 回）	評価企画課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

